

朝風

第20号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 萩の郷福祉工場



SENDAI

(平成25年度)

団数 296団
団員 6,881名
指導者 1,695名

更なるご協力とご支援を

仙台市スポーツ少年団

本部長 安中 俊作



東日本大震災から三年となりました。本市スポ少は、海に面した若林区、宮城野区に所在するスポ少の被害が大きく、特に、荒浜のスポ少は、壊滅的な被害を被りました。その他、活動拠点を失った団も相当数にのぼりましたが、関係者の皆様のご協力、ご尽力により、何とか震災前の活動状況にもどりつつあります。

新年度の本市スポ少の事業として、例年の入団式や白老交流に加え、ドイツスポ少少年団員の受入れ事業が予定されております。ドイツ団員の年令が若干高いこともあり、本市スポ少団員との交流は多少困難が伴いますが、可能な限り異文化を体験するための交流の機会を設けたいと考えております。

その他、スポ少には、平成二十七年度以降、各団二名以上の有資格指導者の配置が義務づけられることになりました。更に、今後の計画には、新たな加入対象として「就学前の幼児」や「障害を持つ子ども」たちの入団促進が求められております。

子どもたちの多様なニーズに対応するためにも本市スポ少として必要な対策を講じていくことが望まれております。

関係する皆様の更なるご協力、ご支援をお願い申し上げます。

『暴力根絶について』

仙台市スポーツ少年団 本部長 安中 俊作

昨年十二月、宮城野体育館でのバレーボール大会のあいさつに訪れた際、体育館脇の広場でキャッチボールをしている父子を見かけ、足が止まりました。子どもは、身長や体格から小学校の低学年と思われる、父が投げるボールを中々うまくキャッチ出来ません。プレイのミスに対して、父の大きな叱咤の声が響き、一球ごとに細かい指摘がくり返されています。取り損ねたボールを拾いに走る子どもの顔には、全然おもしろくないという不機嫌な表情が見てとれました。

この風景をスポーツ少年団活動の現場に置き換えた時、団員の成長やスキルアップのペースの遅れ、更には、プレイを失敗した時のもどかしい想いを団員にぶつけている指導者とダブリ私の気持ちは暗くなってしまう。

ちょうど、一年ほど前に、県スポ少の指導者研修会の席で、スポーツの現場における暴力という悪弊がなぜ生まれたかという背景がわかりました。

戦前の帝国陸軍において、上官の命令を忠実に遂行する兵士を育てるため、理不尽な暴力を加え、服従させる手段として用いられ、それがそのまま学校体育に導入されてしまったのです。

以来、スポーツの現場における暴力問題は、釈然としないまま今日に至り、先ごろの大阪の桜宮高校バスケット部主将の自殺というとり返しのつかない事件が大きく報じられました。その直後、今度は、柔道女子日本代表チームにおける暴力行為が報道され、大きな社会問題として提起される形となりました。

私の経験上、スポ少活動においては、暴力より、むしろ言葉で心を傷つける行為が大部分を占めていると思慮しております。

スポーツを行ううえで、ミスは避けて通れません。特に、バットやラケットなどの道具を使用するスポーツは、技術の習得に長い時間を必要とします。子どもたちの指導に携わる皆様には、ミスをする事によって非常に多くの副産物が得られ、子どもたちを大きく成長させてくれることを強く認識して頂きたいと考えております。

子どもたち自らが「スポーツは楽しい」と感じ、「スポーツが大好き」という子どもたちがあふれるスポ少になることを切に願うものであります。





平成25年度 入団式・交流会

平成二十五年年度

仙台市スポーツ少年団 入団式・交流会開催

平成二十五年四月二十日(土)十時より、シエルコムせんだいにて、仙台市スポーツ少年団の入団式が開催されました。

団数九十四団、団員・母集団・指導者を含め九百七十四名の皆様にご参加をいただきました。

●祝辞

ご来賓を代表いたしましたして、仙台市市民局スポーツ振興課長佐藤康行様よりご祝辞を頂戴いたしました。

●優秀団員表彰

平成二十四年度の優秀団員として各団より推薦された百二十二名の団員が表彰されました。

代表として、栗生スポーツ少年団 佐藤駿君に安中本部長よりメダルと賞状が授与され、その他の優秀団員には、各団の監督やコーチから、それぞれメダルと賞状が授与されました。

●誓いのことば

庄子直利君(泉柔道スポーツ少年団)と菅野又愛美さん(長町ミニバスケットボール同好会)が、代表で「団員綱領」を元氣よく宣誓し、楽しいスポーツ活動を通じて健康な体と心を養うことを全団員が誓い合いました。

●交流会

日本体育協会より佐藤講師(岐阜聖徳学園大学准教授)をお招きし、こどもの体力向上プログラム「アクティブチャイルドプログラム」を体験しました。運動遊び、伝承遊びのプログラムを通じ、五十二団二百七十八名の団員が、楽しいひと時を過ごしました。



▲交流会



▲誓いのことば



▲新規団歓迎



▲優秀団員表彰

ジュニアリーダーズスクール

平成二十五年七月震災後三年振りにジュニア・リーダーズスクールが開催されました。七月二十三日(火)～二十五日(木)までの二泊三日間宮城県蔵王自然の家で団員四十九名リーダー二名指導者十名計六十一名の参加で安中本部長を含めて三つの講話、体力テスト、間伐材での「輪切りの壁掛け」の創作活動、花火、キャンプファイヤー、山の中を歩いてポイントを探すスコア・オリエンテーリング、河北新報に「五年後の私へ」と言う作文を書いて全員で投稿しました。最終日に感想文を書いてスクールは終了しました。その時の作文がこれです。

「リーダーズスクールに参加して」

田子ウイングス 安田 美優香

私は、ジュニア・リーダーズスクールに初めて参加しました。始めは、知らない人と過すことや、女子も少ないので、仲良くなれるかとても心配しました。でも、おもしろい人がたくさんいたので、安心しました。また、指導者の方やリーダーの人も、すごくやさしくて、特に、田原さんや菅井さんにお世話になりました。そのおかげで、不安だったけれど、楽しく過ごせました。

リーダーや、スポーツ少年団とは、何だろうか、という疑問も、西山先生や安中本部長の講話を聞き、よく分かりました。

部屋別や班別の行動も、仲よくなり、みんなで協力して活動することができました。レクリエーションやねる時のことなど、特に、創作活動が楽しかったです。どれも、いい思い出になりました。

私は、ジュニア・リーダーズスクールに参加して、本当に良かったです。指導者の方やリーダーの人に、生活や態度まで指導していただき、感謝しています。その学んだことを生かして、仙台にもどり、田子ウイングスの活動でも、リーダーのような行動をとれるようにがんばります。また、これからも、スポーツを通して、たくさんの人と仲良くなり、楽しみたいのです。





仙台市

白老町 歴史姉妹都市
スポーツ少年団交流会を終えて!!

仙台市スポーツ少年団バレーボール部会

副部会長 常盤 節

平成二十五年八月二日(金)～八月四日(日)の二泊三日北海道白老町スポーツ少年団との交流会に団長という重任を仰せつかり、片平バスケットボールより指導者三名と団員十三名、宮城野区バレーボール部会としてつばめ沢スポーツ少年団から指導者一名と団員八名、新田スポーツ少年団は指導者一名と団員二名、高砂スポーツ少年団は団員のみ二名の参加、本部としては、団長の私と、須田事務局次長の二名が参加し、総勢三十三名で行って参りました。空港には県の行事と重なり白老町交流会に参加出来なかった安中本部長始め、多くの本部役員のお見送りを頂きました。今回は例年の三分の一の人数でしたので、移動の際とてもスムーズな行動を取ることが出来、迎える北海道白老町側も楽だったと思います。

まず一日目、仙台空港出発し新千歳空港着、すぐ送迎バスにてアイヌ民族博物館へ、前回と違いお土産屋さんがありませんでしたので、とても残念な思いがありました、その代わりといつては何ですが、今回珍しいアイヌ食というシンプルですが美味しいお昼を頂きました。食後ムツクリ作りを体験し、アイヌの歌と踊りを見学致しました。その後、例年通り仙台藩白老元陣屋資料館へ参りましたが、資料館の建物の外で、右奥に住居跡とか馬小屋の跡とか、何度かおじゃましていた私ですが、今回初めてゆつくりと説明して頂き、そういういえばいつもは多人数をまとめるのに精一杯で奥迄は見たことがなかったので、今回は少人数で本当に良かったと思いました。その

後、白老コミュニケーションセンターで対面式があり、お預かりした、奥山仙台市長と安中仙台市スポーツ少年団本部長のメッセージも無事読み上げることが出来、団員達は各ホームステイ先の家族の元へ、指導者、父兄は宿泊先へ荷物を置き懇親会会場の白老牛の店いわさきへ、これでもかというくらい美味しい焼肉をお腹いっぱい頂きました。ごちそうさまでした。

二日目は、白老総合体育館でバスケットボール交流試合、緑丘小学校でバレーボール交流試合を行いました。今回初めてバレーボールチームが交流会をして下さいましたが、次回は期待しないで下さいとくぎを刺されましたので初めてで最後かもしれません。バレーボールの子どもたちの面倒は、前のグッピーさんの荻野さんが中心となりGenキングの方々がして下さいました。ありがとうございました。

三日目、歓送式の後マイクロバス二台で出発、今回はバスケットとバレーが各二台ずつに分乗し、洞爺湖、有珠山をゆつくり見学、その後新しい道路が空港迄出来たというので通ってみようということになりましたが、開通の日に重なり混むこと大変でした。普段の三倍ほど時間がかかりましたが、空港での買物時間を多目に取っておりまして、そのへんは大丈夫でした。空港に着いてからも飛行機が一時間程遅れるので夕食代が出ますが、準備して下さいるのではないので各自購入して下さいとか、団員の一人が搭乗券を紛失してしまい、見つかりませんでした。が団体購入なので何とか乗せて頂き仙台へと、いろいろありましたが、それぞれ良い思い出作りが出来たと思います。



50周年記念事業

北海道日本ハムファイターズ稲葉篤紀選手 東日本大震災復興支援事業

宮城県スポーツ少年団創設50周年記念

綱引き・ドッチビー交流大会

宮城県スポーツ少年団の創設50周年を記念し、平成25年10月19日(土)シェルコムせんだいで「綱引き・ドッチビー交流大会」が開催されました。

仙台市からは、115名(指導者を含む)が参加し、他市町村の団員とスポーツ交流を楽しみました。



綱引きを頑張る太白区チーム

宮城県スポーツ少年団創設50周年記念式典・記念講演・祝賀会が平成26年2月8日(土)仙台ガーデンパレス鳳凰の間において開催されました。記念講演では、ラグビー元日本代表、U21日本代表及び慶応義塾大学元監督の上田昭夫氏が「原石を磨くスポーツ指導」をテーマに約100名の参加者に講演を行いました。記念式典では、日本スポーツ少年団坂本部長からビデオレターの祝辞を頂き、安中本部長より永年にわたりスポーツ少年団の充実・発展に大きく貢献された功績をたたえ、歴代本部長と大塚製薬仙台支店様に特別感謝状が贈られました。また各市町村・種目別協議会から推薦された118名の皆様に特別功労賞が贈られました。

表彰式後のアトラクションでは、中田・青葉空手道スポ少の模範演技、ジュニアダンススポーツクラブせんだいスポ少の「ダンスうんどろ」と華麗なるダンスに会場も大いに盛り上がりしました。

開会に先立ち、標語と絵画コンクールの表彰がありました。仙台市関係者では、標語で「泉トランポリンクラブ 高橋 茉夏さん」が特別賞に選ばれました。



賞をもらってうれしかったです。トランポリンのみなと仲よくとんでいます。またがんばります。

仙台市スポーツ少年団新規団紹介

●八木山南フットボールクラブ(太白区)

2013年からサッカーが好きな男女30名で活動しています。

まずは「楽しくサッカーをする」を前提に、技術の向上だけでなく、サッカーを通じ色々な事を学びながら、日々の練習、試合を重ね頑張っています。チームの特徴は女子が多いことで、女子チームで大会にも参加しています。まだまだのチームですが、全員仲良く一生懸命にサッカーをしていきたいと思っています。

代表 小野寺 康一



●少年野球 向山ビーンズ(太白区)

平成22年4月、部員2名で発足、現在27名。「元気で楽しく努力」をチームのモットーとし「健全育成」のもと、自主性を重んじ「結果ではなく自らの努力過程を大事にし」1年生から6年生まで和気藹々と練習を行っている。ビーンズとは、子供たちが「スポーツを楽しく努力するもの」と認識し、将来スポーツを継続してくれることを願って命名したものである。今後とも宜しく御指導の程お願い致します。

代表 野又 勝行



平成25年度宮城県スポーツ少年団「功績賞」表彰式並びに平成25年度日本スポーツ少年団「顕彰」伝達式

平成26年3月15日に仙台ガーデンパレスにおいて、標記の表彰式並びに伝達式が行われました。

●平成25年度宮城県スポーツ少年団「功績賞」受賞(団体・個人)

団体：長命ヶ丘スカイヤーズ、将監バスケットボール

個人：佐藤 禎信(茂庭台ライオンズ)、脇澤 利悦(泉柔道)

大澤きよみ(住吉台ミニバスケットボール)、他「功労賞」11名

●平成25年度日本スポーツ少年団「顕彰」受賞(個人)

永年にわたりスポーツ少年団の発展、指導育成に貢献、特に顕著な功績のある団及び登録指導者を表彰する。

個人：加瀬 道雄(仙台市スポーツ少年団)、他「感謝状」2名

以上、仙台市関係分

平成25年度 仙台市スポーツ少年団委員総会の報告

『平成25年度委員総会』が、平成25年4月10日(木) 仙台市体育館 2F 研修室において開催され審議を行い、次の全ての議案が承認されました。

- 議 題
- (1) 第1号議案 平成24年度会務並びに事業報告
 - (2) 第2号議案 平成24年度収支決算報告並びに監査報告
 - (3) 第3号議案 平成25年度会務並びに事業計画(案)について
 - (4) 第4号議案 平成25年度収支予算(案)について
 - (5) 第5号議案 役員改選について



平成25・26年度 仙台市スポーツ少年団役員名簿

(任期 平成25年4月～平成27年3月)

本部長：1名、副本部長：5名、常任委員長：1名、常任副委員長：2名、常任委員：23名、監事：2名

No	役 職	氏 名	所 属 団	選 出 区 分	専 門 委 員 会
1	本 部 長	安 中 俊 作	南小泉・遠見塚アンティゴFC	若林区	
2	副 本 部 長	吉 田 尚	栗生	青葉区	総務企画広報
3	//	菅 野 浩 佳	高砂サッカー	宮城野区	総務企画広報
4	//	及 川 浩 一	Team TOMO	若林区	組織強化交流事業
5	//	引 地 貞 利	茂庭台少年剣道	太白区	組織強化交流事業
6	//	加 瀬 道 雄	泉柔道	泉区	指導者・リーダー育成
7	常 任 委 員 長	紺 野 幸 雄	茂庭台ライオンズ	野球	
8	常任副委員長	西 山 和 人	桂空手道クラブ	空手	指導者・リーダー育成
9	//	庄 司 淳	燕沢少年野球	指導協(宮)	総務企画広報
10	常 任 委 員	渋谷 光 保	仙台市体育協会	本部長推薦	
11	//	山 田 邦 史	荒巻少年野球クラブ	青葉区	組織強化交流事業
12	//	椎 名 二 男	宮城野チームダンクB・B	宮城野区	総務企画広報
13	//	遠 藤 剛	古城ファントムミニバスケットボール	若林区	総務企画広報
14	//	田 村 吉 博	中田	太白区	総務企画広報
15	//	斉 藤 真	泉ヶ丘ヤングイーグルス	泉区	指導者・リーダー育成
16	//	阿 部 強	木町通フレンズ	指導協(青)	総務企画広報
17	//	小 林 裕 二	若林	指導協(若)	組織強化交流事業
18	//	遠 藤 晋 次	養志館	指導協(太)	組織強化交流事業
19	//	田 原 龍 子	レインボースターズ	指導協(泉)	指導者・リーダー育成
20	//	岩 井 二 朗	金剛沢サッカー	サッカー	総務企画広報
21	//	山 岸 勝 彦	向陽台たんぼぼ	バレーボール	総務企画広報
22	//	村 上 文 江	長町ミニバスケットボール同好会	バスケットボール	総務企画広報
23	//	大 宮 正 道	泉柔道	柔道	組織強化交流事業
24	//	加 藤 宏	燕沢ジュニアバドミントン	バドミントン	組織強化交流事業
25	//	音 羽 裕	養志館	剣道	組織強化交流事業
26	//	村 山 勝 博	仙台ラグビースクール	ラグビー	組織強化交流事業
27	//	松 浦 文 子	仙台ジュニア泉トランポリン	トランポリン	指導者・リーダー育成
28	//	中 里 孝 行	仙台スノーボード	スノーボード	指導者・リーダー育成
29	//	青 木 興 一	仙台テニス	テニス	指導者・リーダー育成
30	//	中 嶋 勉	ジュニアダンススポーツクラブせんだい	ダンス	組織強化交流事業
31	//	小笠原 由 也	青葉空手	リーダー会	指導者・リーダー育成
32	//	渡 邊 義 孝	事務局長	本部長推薦	
33	監 事	長谷川 瑞 江	桂空手道	泉区	
34	//	三 原 芳 樹	ベアーズクラブ	青葉区	

仙台市スポーツ少年団の情報は ホームページを チェック!!

仙台市スポーツ少年団

検索

<http://www.spf-sendai.jp/sendai-ships/>



仙台市スポーツ少年団のホームページでは、市内で開催される各種イベントや大会研修会等の情報を随時提供しております。イベントのスナップ写真や、各単位団の情報も盛りだくさん！ぜひご利用ください。

平成25年度仙台市スポーツ少年団 指導者・育成母集団研修会並びに 平成26年度登録説明会開催報告

平成26年3月8日(土)
広瀬文化センターにおいて研修会並びに登録説明会が開催され235団・319名の指導者・父兄が参加されました。



【第一部】平成25年度 指導者・母集団研修会

【講話①】スポーツ活動中のモラルについて

【講師】宮城教育大学 教授 池田 晃一氏

【講話②】スポーツ時の水分補給について

【講師】大塚製薬 池永 将士氏



【第二部】平成26年度登録説明会

【説明①】スポーツ安全保険とその手続きについて

【講師】スポーツ安全協会
宮城県支部
三浦あつ子氏

【説明②】スポーツ少年団登録事務について 事務局

平成26年度本部事業予定 入団式は4月20日 シェルコムせんだいにて

月日	曜日	行事名称	会場
4月9日	水	委員総会	仙台市体育館
4月20日	日	入団式・交流会	シェルコムせんだい
7月25日 ～28日	金 ～ 月	ジュニアリーダーズスクール (宮城県共催)	国立花山 青少年自然の家
8月2日 ～6日	土 ～ 水	日独同時交流(受入)	仙台市内各所
8月8日 ～10日	金 ～ 日	白老町スポーツ少年団交流会 (受入)	仙台市内各所
平成27年 3月	土	指導者・母集団研修会 登録説明会	未定

ドイツ団が
杜の都に
やってくる!

日独スポーツ少年団同時交流
ホストファミリー募集!!

《受入期間》平成26年8月2日・3日の2泊
詳細は、事務局にお問合せください。

本年も登録はお早めに!!

仙台市スポーツ少年団の登録は

4月1日から8月29日までです。(土・日・祝日を除く)

※追加登録を含む

平成26年度登録料は(団員800円 指導者1,700円)※予定

住 所: 仙台市青葉区錦町1-3-9

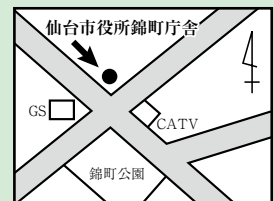
仙台市役所錦町庁舎3F

(公財)仙台市スポーツ振興事業団内

T E L : 022-262-4180 F A X : 022-268-4193

事務局にお越しの際は駐車場がありませんのでご注意下さい!

※AM9:00～PM5:00
昼休み中も受付ます。



種目別団体数の推移

種 目	年 度				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
複合	6	6	6	6	6
サッカー	71	70	74	74	77
スノーボード	1	1	1	1	1
テニス	1	1	1	1	1
バレーボール	47	44	47	47	43
バスケットボール	67	69	69	71	69
卓球	1	1	1	1	0
野球	72	75	80	81	81
柔道	13	11	11	10	9
バドミントン	3	3	4	5	5
剣道	11	12	12	9	9
ラグビー	1	1	1	1	1
空手道	14	14	14	16	12
トランポリン	1	1	1	1	1
ダンススポーツ	1	1	1	1	1

◆◆◆編集後記◆◆◆

東日本大震災から三年目、ソチ冬期五輪のフィギュアスケート男子で日本初の実金メダルを地元出身の羽生結弦選手(十九)が獲得、メダルの輝きが地域の復興またスボ少団員や指導者のパワーとなり、団活動の活性化に繋がる事を願わずにはいられません!

スボ少のホームページも益々充実してきておりますが、今回も従来の「読む朝風」から見る朝風」をモットーに、一年間の活動を一目でお伝え出来るような新聞作りを心がけてきました。が、出来映えはいかがでしょう?!

次号では、より皆さまの生の声をお届け出来るような新聞作りをしたいと思っております。

今回寄稿頂きました皆さまには心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

広報委員会

広報担当副委員長

副委員長

委員

吉田 尚・菅野 浩佳
村上 文江
庄司 淳
椎名 二男・遠藤 剛
田村 吉博・阿部 彦
岩井 二朗・山岸 勝彦